

大地の風

加美町農業委員会

加美町字長檀 75-2

☎67-5411

第15号

平成26年9月発行

加美町の美しい自然と水源を守りたい



田代岳から見た加美町の耕土

農地を最大限に生かす

会長 我孫子 武二

先般、知人と上京する機会があった。若干の農地を所有し会社役員の方は、学生時代スポーツ万能で頭脳明晰であった。2時間の車中で農業の話題になり、彼曰く「農業の後継者が育たないのは農業を取り巻く環境が整備されて無いからではないか」という意見があった。一言でいえば、全くその通りであり具体的な物言がなくても納得してしまった。

5 haの水田を作付し家族を養うことができた昭和中期までの時代と違い、10 haの水田でも1年の生活が苦しい現在の稲作農業経営。兼業農家という日本独特の農業経営体が、多数を占める中で非常に難しい農政の“かじ”取りが求められる。そんな時、昨年からは「農業再生」“創生”の名のもと、様々な農業改革を打ち出している。

農家の高齢化や担い手不足により日本の食料生産力は急激に落ち込んでいる今日、生産の基盤である農地を守り、その機能を“最大限に生かす施策”を考え実行するのが農業委員の仕事と考える。農業は、地域を離れては存続できない。加美の美しい“地域”を子孫に引き継ぐためにも振興方針(方策)を明確にし行動していきたいものである。

東京は相変わらず人々…。農業再生もそこに人が居なければ…。と考える2日間だった。

さつまいもの苗を植えました

食農教育推進事業の開催 5/26~5/28



上手に植えられたよ
みんな笑顔です。
!(^^)!



賀美石幼稚園年長さんと宮崎地区の農業委員

農業委員から、さつまいもの苗の
植え方を教えてもらっ子どもたち



- | | | | |
|------|---------|-----|-----|
| 5/26 | みやざき園 | 年長児 | 17名 |
| | 賀美石幼稚園 | 年中児 | 23名 |
| 5/27 | おのだひがし園 | 年長児 | 25名 |
| | おのだにし園 | 年長児 | 11名 |
| 5/28 | 中新田保育所 | 年長児 | 38名 |

*晴天に恵まれ、3地区でさつまいもの苗の定植を行いました。この事業は、幼い時期に作物の植え付けから収穫までの一連の農作業を体験することで、土に親しみ、食と農のつながりと農業の楽しさを知ってもらうために実施しています。

収穫は10月下旬、子供たちのおまじない
「おおきくなあれ♪おおきくなあれ♪
おおきくなあ〜れ!!!」



おのだひがし園のおともだちと小野田地区の農業委員及びJA職員



土のおふとんをトントントン



平成26年度 女性就農者の声 NEW ✨ アグリレディースカフェV01.を開催

平成26年7月2日 AM11:30~PM2:00



伊藤委員のあいさつ



☆女性農業委員4人が今年度初めて、加美町で就農する女性たちの声を聴く「アグリレディースカフェ」を開催。記念すべき第1回目は12名の方々をご招待しました。招待客は、稲作、野菜、畜産、酪農、野菜加工、直売など様々な形態で農業を営む方々です。食事をいただきながら農業を続ける楽しさや今までの苦労話などいかが이었습니다。

話の中では、パートナーの理解と協同の大切さ、子育てを乗り越えるまでの苦労、嫁にきた時の無我夢中の農作業を振り返って、今やっと農業の楽しさが実感できるなど様々な面で共感がありました。

第2回目のカフェを、平成27年2月に予定しています。招待状が届きましたら、皆さん是非いらしてくださいね。



農地パトロール（利用状況調査）を実施

農業委員会では、優良農地の確保と食糧自給率の向上に向け、耕作放棄地の発生防止と解消、意欲ある農業者への農地集積の推進を図るため、今年度も8月7日~11日に地区ごとに農地パトロールを実施しました。

数年前から耕作放棄地の面積は、ほぼ横ばいとなっていますが、内容としては解消農地（耕作の再開）となる農地がある反面、新たに耕作放棄地となる農地が増えているのが現状です。

耕作放棄地は、病害虫の発生の原因になるなど、周辺地域の営農環境や生活環境に悪影響を及ぼす恐れがあります。

農業委員会では、耕作放棄地減少を図るため、関係機関と連携しながら、農地法に基づく耕作再開に向け指導してまいりますので、遊休農地にならないよう、皆様のご協力をお願いします。



↑ 増える耕作放棄地

研修報告

平成二十六年 度

「東北・北海道農業活性化フォーラム」

～新たな農政改革と

農業委員活動の強化～

農業委員 三浦 泉

本年は、八月二十八日東北・北海道から、千六百人を超える参加のもと、岩手県盛岡市市民文化ホールを会場に盛大に開催されました。

今回は特に、農政改革、農業委員会制度組織の見直し、我々農業者にとって様々な問題を含む政府の改正案に対する内容でした。

私は、基調講演の元食糧庁長官の高木賢氏の講話は本当に自分自身同感しました。現在の日本の社会は「企業社会」である。「地域」なくして「国家」なし。国益のためなら農政よりも企業参入という机上の考えが優先。これでは、後継者が減少するのは、当然。農家も同等の経営ができるよう農業委員として、反対論だけでなく、地域農業の発展のため努力したいと改めて感じられたフォーラムでした。

平成26年度 認定農業者との意見交換会の開催 ～テーマ：10年後のわが家～

Q1 農業所得は10年後も、維持し続けられますか？ 維持するためにどうしますか？

＝より多くの意見を求めて＝

農業委員と認定農家の意見交換会、今回は初めてグループ討議形式を試みました。4つのグループに分かれ、2つの問いに一人一人が付箋紙に思いを書き込み意見交換しながら代表がまとめて発表するという流れで、10年後も現在の農業所得が維持できるか？集落での農家戸数が3割くらいになっても、農地が維持できるか？様々な意見が出され農業政策がころころと変わる昨今に、未来の農業経営の形を見出し建設的な意見も出され、農業委員会としても活動の方向性を感じ取ることができる収穫の有る有意義な意見交換会でありました。

農業委員会農政副委員長 半田 守



10年後、おれたちは農業をしているか？

引退！リタイヤ？後継者？集落営農！法人化！
認定農業者21名と農業委員、関係機関職員が
グループディスカッション

＝7月23日（水）よつば館＝

加美町認定農業者連絡協議会

佐々木郁郎会長は、

「意見交換会でこれからの農業へのヒントを一つでも見つけてほしい」と語る

意見交換会に参加して



昨年も参加しましたが、何も話せなかった。どんな会議も、あまり話さないことが多いけど、今年はガラッと変わって、グループにな

ったら、こんなに意見を出せたのは初めて。参加してよかった。【渡辺大介さん】

Q2 あなたの集落の農家戸数が3割くらいになっても、農地が維持できると思いますか？



同じ農業といえども、経営は異なる者同士が集う。より良い経営体を探る。ひらめきと納得の瞬間。

グループの意見をまとめ代表者が発表

- *各集落の法人化を進めよう。*労働力の確保。
- *国の補助金を有効に使おう。*農機リースの充実。
- *儲かる農業をめざして。*農のリラクゼーション。
- *基盤整備の推進を図る。etc.参加者の想いは熱い！



～ 加美町農業委員会からのお知らせ ～

☆新たな仕組み「信頼できる農地の中間的受け皿」として

農地中間管理機構

ができました。

【お問い合わせ・申請の窓口】・農業委員会 ☎67-5411 ・役場農林課 ☎63-3408
・担い手支援センター ☎63-2161 JA・農地集積・一元経理センター ☎63-3782

*出し手の申請は、8月1日から受付を開始しています。

*受け手の申請期間は、9月16日から10月16日までです。

機構から農地を借りたい人は、受け手の公募に応募して下さい！

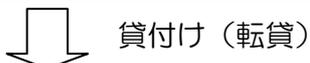
農地の貸し借りの流れ

出し手（農地所有者）

*リタイヤするので農地を貸したい・農業者年金受給のため、第三者に経営移譲したい等



農地中間管理機構



受け手（担い手）

*分散した農地をまとめたい等

＜個々の出し手に対する支援＞

*機構に農地を10年以上貸し付けた個々の出し手の皆さんを支援します。

経営転換協力金 ・ 耕作者集積協力金

機構（みやぎ農業振興公社）は県の第3セクターです。

＜地域に対する支援＞ 地域集積協力金

*交付要件

集落（行政区）単位で「人・農地プラン」を作成して対象地域のエリアを設定していただく必要があります。

機構の活用は地域ぐるみで！

*「人・農地プラン」の話し合いの中で機構を活用し、地域内の農地利用の再編を進めましょう。

*地域で機構にまとまった農地を貸し付けると、地域に協力金が交付されます。

農地中間管理機構の活用により、より有効な農地利用ができるようになります。地域で「人・農地プラン」の作成に取り組んでみては、いかがでしょうか？

詳しいことは担い手支援センターにご相談ください。

地域の話し合いには、我々農業委員も積極的にかかわってまいります。

【人・農地プラン作成集落】

- ◆下新田上 ◆上区・小野田城内
- ◆川底（南鹿原）◆青野（南鹿原）
- ◆月崎 ◆北永志田・寒風沢
- ◆滝ノ沢 ◆雷

放射性指定廃棄物最終処分場建設反対

高橋 京一 委員（柳沢）

私は、反対運動に毎回参加しています。しかし住民はどうだろうか？ 充分理解しているだろうか？ そうだ、行政区で集会をしよう！と思い、区長さんと協議し、8月3日に行うことにしました。参加者は、子供会、婦人会、若者会とにかく住民全員に声をかけました。集会には、町長さん、副議長さんそして区会長さんに参加いただいた。ビデオで詳しく説明を受けるなか、「おおお」と声があがった。「町長さん、この子供たちのためにも つくらないで・・・」

少し言葉が詰まった！
米・野菜・働く職場もだめになったら「死活」問題だ。何とかしなくちゃ。全員うなる。

最後は、シュプレヒコール。
「断固反対、農地と水を守れー！」
「町長さんがんばれー！」のコールでした。参加者全員と握手して誓い合った。はじめての行政区集会だった。
みなさん 「断固はんたいー！ がんばろうー！」

農地の権利移動・設定・転用等の状況

＝平成26年度上半期＝

項目	事由	件数	面積㎡
農地として利用 するための移動 農地法第3条 許可	所有権 移転	売買	0
		贈与	7
		交換	0
		小計	7
	賃貸借権の設定	0	
	使用貸借権の設定	0	
合計	7	85,107.53	
賃貸借の解約（農地法第18条通知）		21	235,783.36
農地として利用 するための移動 農用地利用 集積計画	利用権の設定（賃貸借）	36	390,515.80
	利用権の設定（使用貸借）	6	192,980.27
	所有権移転（売買）	6	15,803.75
	所有権移転（交換）	0	0
	合計	48	599,299.82
農地の転用 農地法第4・5条 許可	自己転用	2	2,292
	権利移転を 伴う転用	16	20,840.87
	合計	18	23,132.87

女性農業委員が綴る

つれづれだより

野菜作りをして三十年程になりますが、未だに「これぞ」と思う作品に巡り会えないでいます。

茄子、胡瓜、トマトと数えると十種類以上作って土産センターに出していますが、いつも収穫しながら考えさせられる事があります。胡瓜は朝晩と二回もぎますが、葉の陰に隠れていたり、支柱にピッタリとくっついていて何回か見落とされ、大きくなり過ぎていくものに、毎日のように出合います。トマトも表から見ると全部もいだつもりが、裏に回ると真っ赤にむれているのが見つかります。

「こいつ野菜に出合った時に「私はここにいますよ。早く見付けて下さい。」と言ってるように思えてきます。こんなに自己主張している野菜を見るにつけ、これが私の子や孫だったり、近所の子供達だったりと思う事があります。今はじいちゃん、ばあちゃんが孫の面倒を見る時間が多いうので、子供達が帰って来たら「いじめに会ったりにしてないか」「何か変わった様子はなにか」注意深く良く観察してほしいものです。

「私達の宝物ですからね」

伊藤 登喜子

16号（H27.3発行）予定

- * さつまいもほり
- * 優良農家表彰
- * 男の料理教室
- * 農地転用Q&A
ワンポイントアドバイス
- * 農地移動状況下半期
ほか

編集委員
委員長
副委員長

板垣文一
近田利樹
畠山明美
尾出弘子
澁谷幸悦
小京子